

学年	教科等	単元名	日時
第6学年	社会科	新しい日本、平和な日本	令和元年11月13日(水)6校時
本時における「深い学び」	1964年の東京オリンピックをとおして、日本が戦後どのように変化してきたのかを捉えられるようにします。そして、そのオリンピックのスタートの起点となった平和台について考えることで、戦後の日本が平和や発展を目指して復興に取り組んだことが分かるようにします。		

単元を貫く問いをもたせるために

オリンピックを開ける国ってどんな国？

でも、戦後の日本はボロボロだったはず…？

平和台は、聖火リレーのスタートの起点に選ばれました。しかし、以前は戦争のシンボルとして使われていたようです。

平和の塔と呼ばれているのに、以前は戦争のシンボルだったなんて…。

宮崎が聖火リレーのスタートの起点に選ばれていたの？

オリンピックは平和で豊かな国で行われそうだけど…。

自分の考えをもつ

子どもの反応及び意識の高まり

子どもたちのもつオリンピックのイメージを基に、オリンピックを開くことのできる国とはどのような国か、ということについて考えさせました。その結果、戦後日本が荒廃していたこととオリンピック開催とのズレが生まれ、疑問をもたせることができました。また、子どもたちにとって身近な平和台がオリンピックのスタートの起点に選ばれたことと、そこにある平和の塔が戦争のシンボルとして利用されてきたことを伝えました。そうすることで、戦後日本にどのような変化が起きたのか、子どもの意識を高めることにつながりました。

戦後から短い期間で、日本にどんな変化があったのかな？

なぜ、戦争のシンボルとして使われていた場所が、スタートの起点に選ばれたのかな？

自分の意見を見つめ直し、再構成させるために

事実の確認

戦後の日本は、オリンピックを開催できる国になったの？

みんなはどのようにまとめたのかな？

なるほど！
そういう考え方があるんだ。ここは同じ考えだな。

三角チャート

憲法も制定されたし、国民生活もよくなった。外国ともよい関係ができてきたから…。

〇〇班では、～のようにまとめていたよ。

□□班の、…という言葉はまとめるときに分かりやすくていいね。

八紘一宇の文字は、オリンピック後に元に戻されました。

子どもの反応及び意識の高まり

単元の内容を学習した後、戦後日本はオリンピックを開催できる国になったのかを問いました。子どもたちは学習したことを基に、3つの視点から三角チャートに自分の意見を書きこみました。それぞれの視点から書き出されたことを1つにまとめ、オリンピックに込められたメッセージについて考え、それをワールドカフェ方式で意見交換し、その後、班で再検討しました。そして、平和の塔から削られていた八紘一宇の文字がオリンピック後に改めて掘りなおされたことを伝えました。そのことで、子ども達は、八紘一宇に込められた願いが変わったのではないという考えをもつことができました。

平和を目指すという意味で、元に戻したんだと思う。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

○ 単元指導計画（7時間）

階	主な学習活動及び学習内容	教師のかかわり	具体的な評価規準
生 み 出 す (1)	<p>1 平和台公園の平和の塔と東京オリンピックの関連性について考えることをとおして、「単元を貫く問い」をもつ。 〈第1時〉</p> <p>【単元を貫く問い】</p> <p>スタートの起点にどのような思いや願いが込められているのだろうか？</p> <p>【次時以降の学習問題】</p> <p>戦後日本は、どのように変わってきたのかな？</p>	<p>○ 平和台公園が1964年東京オリンピックの聖火リレーの起点であったことを基に、戦後日本にどのような変化が起きたのか、関心をもつことができるようにする。</p> <p>○ 2020年東京オリンピックの聖火リレーのスタート地点が福島になった理由について考えることをとおして、単元を貫く問いをもつことができるようにする。</p>	<p>○ 戦後日本の様子とオリンピック開催という事象から戦後日本の歩みに関心をもち、単元を貫く問いをもつことができる。 (態度)</p> <p>【発言・ノート】</p>
挑 む (4)	<p>2 戦後日本の歩みについて調べる。</p> <p>○ 戦時中と戦後の社会の様子を比較することをとおして、政治と社会の仕組みの変化の関連性について理解する。 〈第2時〉</p> <p>○ 戦後の日本と世界との関係について調べることをとおして、日本の産業の発展と外国との関連性について考える。 〈第3時〉</p> <p>○ 1965年からの高度経済成長と1964年の東京オリンピックとの関連性について調べることをとおして、国民生活の向上と日本が抱える課題について考え、理解する。 〈第4、5時〉</p>	<p>○ 日本国憲法を示し、当時使われた教科書や選挙の様子と戦時中の社会の様子を比較させることで、政治や社会の仕組みに変化が起きたことに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 日本が外国と平和条約を結んだことや支援を受けて産業発展が実現したことを調べることをとおして、日本が戦争からの復興に向けて歩みだしたことを考えられるようにする。</p> <p>○ 高度経済成長とオリンピックとの関連を調べさせることで、日本がオリンピックをとおして戦後からの復興を世界に伝え、世界平和を担う重要な役割を果たしたことを考えられるようにする。</p> <p>○ 高度経済成長と環境問題によって起きた公害がどのように関連しているか考えさせることで、国民生活の向上と急な発展に寄って起きた問題に気付くことができるようにする。</p>	<p>○ 日本国憲法の原則や女性の社会進出が始まったことを理解することができる。 (知識・技能)</p> <p>【発言・ノート】</p> <p>○ 国際連合への加盟と日本の産業発展の関連性について表現することができる。 (思・判・表)</p> <p>【発言・ノート】</p> <p>○ オリンピックをとおして戦後復興と世界平和への貢献を果たしたことを考えることができる。 (思・判・表)</p> <p>【発言・ノート】</p> <p>○ 発展により国民生活が向上したこと、環境問題が起きたことを理解できる。 (知識・技能)</p> <p>【発言・ノート】</p>
生 か す (2)	<p>5 スタート地点に込められた思いや願いについて考える。 〈第6時〉本時</p> <p>【単元のまとめ】</p> <p>○ スタートの起点に選ばれる場所には、日本が苦しい状況にも負けずに努力し、国を発展させてきたという思いや、これからも平和が続いてほしいという願いが込められている。先人が築き上げてきた思いや願いを引き継ぎ、よりよい社会の実現に向けて、努力していかねばならない。</p> <p>6 学習したことを新聞等にまとめ、これからめざすべき日本の姿について自分の考えを書く。 〈第7時〉</p>	<p>○ 戦後日本の歩みについてふりかえり、日本の変化について考えることで、東京オリンピックに込められた思いや願いについて考えることができるようにする。</p> <p>○ 平和の塔に込められたメッセージとは何なのかと問うことで、今後自分たちがどのような社会をめざしていけばよいのかということについて考えることができるようにする。</p> <p>○ 個々でもった意見を新聞等にまとめる中で、「これからも受け継いでいきたいこと、残していきたいことは何か」と問うことで理想の日本の姿についてまとめることができるようにする。</p>	<p>○ 単元を貫く問いに対する自分の考えを、学習してきたことを基に表現することができる。 (思・判・表)</p> <p>【発言・ノート】</p> <p>○ 自分の考えを新聞にまとめることができる。(技能)</p> <p>【発言・新聞】</p>

○ 本時の目標

戦後復興の視点と東京オリンピック開催の意義をふまえて、日本がどのような国をめざしているのか考えることができる。

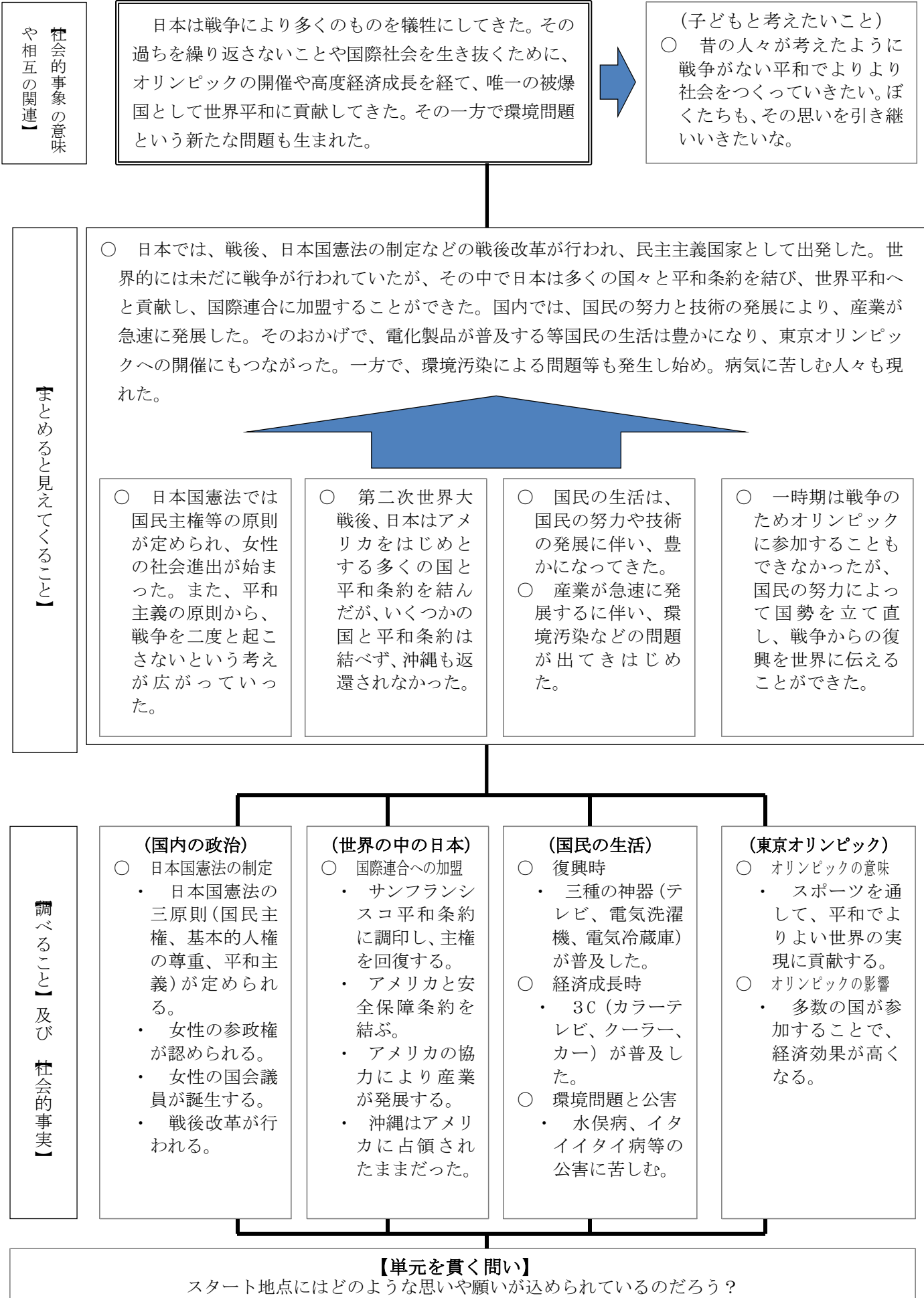
○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 日本の戦後からの復興をふりかえり、単元を貫く問いを確認し、本時学習問題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 終戦後、政治や国民生活、国際社会との関係での大きな変化 ○ 単元を貫く問い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">スタートの起点にはどのような思いや願いが込められているのだろう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習問題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">東京オリンピックには、どのような思いが込められているのだろう。</div> <p>2 本時学習について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えること <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京オリンピックに込められたメッセージ ・ 宮崎がスタートの起点に選ばれた理由 ○ 考える視点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 政治 ・ 国民生活 ・ 国際社会との関係 <p>3 東京オリンピックに込められたメッセージについて考えをもち、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京オリンピックに込められたメッセージ <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <pre> graph TD A[民主主義国家] --> B[国民生活] A --> C[外国との関係] B --> A C --> A D[女性の社会進出や国民の努力により、国際関係を改善する等戦後からの復興を果たした。] </pre> </div> <p>4 スタートの前点となった平和台公園に、込められた思いや願いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 戦争のシンボルとして使われた平和の塔 ○ 一度は削除され、復元された八紘一宇の文字 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本が復興したことや戦争のない国にしたい。 ・ 外国と仲よく協力してやっていきたい。 <p>5 まとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のまとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">スタートの起点に選ばれた場所には、国民の努力によって日本を発展させてきたことや、世界に対して平和な国であり続けるという思いが込められていると思う。僕たちも、その思いを受け継いでいきたいな。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本は、オリンピックを開催できる国になったのだろうか」と問うことで、日本の戦後復興についてふりかえることができるようにする。 ○ 「東京オリンピックに込められたメッセージは何か」問うことで、日本の戦後復興と東京オリンピックの開催を関連付けて考えることができるようにする。 ○ 戦後復興の視点として、政治、国民生活、国際社会との関係を挙げることで、単元を貫く問いや本時学習問題を解決する際の視点をもつことができるようにする。 ○ 考える視点ごとに、オリンピックを開催するうえで、最も大切だと考えることを図にかかせることで、東京オリンピックに込められたメッセージを多角的に考えることができるようにする。 ○ 3人グループで、オリンピックを開催するうえで大切な視点は何か話合わせることで、様々な視点でオリンピックに込められたメッセージを考えることができるようにする。 ○ ワールドカフェ方式で意見交換を行わせることで、相互の意見の共通点や相違点を見出し、新たな考えを出したり、深めたりすることができるようにする。 ○ 戦時中、戦争を推進するシンボルとなった平和の塔をあえて聖火リレーのスタートの起点としたことを示すことで、東京オリンピック開催に込められた思いや願いについて考えられるようにする。 ○ 八紘一宇の言葉としての意味を提示し、東京オリンピック開催に込められた思いや願いと関連させることで、平和の塔に込められた現在の思いについて考えることができるようにする。 ○ 戦後日本の歩みと平和の塔に込められた思いについて話し合ったことを基に考えさせることで、単元を貫く問いに対する自分の考えをまとめることができるようにする。

○ 本時の評価規準

民主主義国家への変化、国民生活の向上、国際社会との関係回復等の事象をふまえ、戦後日本の歩みにこめられた思いや願いについて自分の考えを表現できている。 (思・判・表) 【発言・ノート】

○ 教材分析



社会的事象の意味
や相互の関連

日本は戦争により多くのものを犠牲にしてきた。その過ちを繰り返さないことや国際社会を生き抜くために、オリンピックの開催や高度経済成長を経て、唯一の被爆国として世界平和に貢献してきた。その一方で環境問題という新たな問題も生まれた。

(子どもと考えたいこと)
○ 昔の人々が考えたように戦争がない平和でよりよい社会をつくっていききたい。ぼくたちも、その思いを引き継いでいきたいな。

○ 日本では、戦後、日本国憲法の制定などの戦後改革が行われ、民主主義国家として出発した。世界的には未だに戦争が行われていたが、その中で日本は多くの国々と平和条約を結び、世界平和へと貢献し、国際連合に加盟することができた。国内では、国民の努力と技術の発展により、産業が急速に発展した。そのおかげで、電化製品が普及する等国民の生活は豊かになり、東京オリンピックへの開催にもつながった。一方で、環境汚染による問題等も発生し始め、病気に苦しむ人々も現れた。

まとめると見えてくること

○ 日本国憲法では国民主権等の原則が定められ、女性の社会進出が始まった。また、平和主義の原則から、戦争を二度と起こさないという考えが広がっていった。

○ 第二次世界大戦後、日本はアメリカをはじめとする多くの国と平和条約を結んだが、いくつかの国と平和条約は結ばず、沖縄も返還されなかった。

○ 国民の生活は、国民の努力や技術の発展に伴い、豊かになってきた。
○ 産業が急速に発展するに伴い、環境汚染などの問題が出てきはじめてきた。

○ 一時期は戦争のためオリンピックに参加することもできなかったが、国民の努力によって国勢を立て直し、戦争からの復興を世界に伝えることができた。

調べること及び社会的事実

(国内の政治)
○ 日本国憲法の制定
・ 日本国憲法の三原則(国民主権、基本的人権の尊重、平和主義)が定められる。
・ 女性の参政権が認められる。
・ 女性の国会議員が誕生する。
・ 戦後改革が行われる。

(世界の中の日本)
○ 国際連合への加盟
・ サンフランシスコ平和条約に調印し、主権を回復する。
・ アメリカと安全保障条約を結ぶ。
・ アメリカの協力により産業が発展する。
・ 沖縄はアメリカに占領されたままだった。

(国民の生活)
○ 復興時
・ 三種の神器(テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫)が普及した。
○ 経済成長時
・ 3C(カラーテレビ、クーラー、カー)が普及した。
○ 環境問題と公害
・ 水俣病、イタイタイ病等の公害に苦しむ。

(東京オリンピック)
○ オリンピックの意味
・ スポーツを通して、平和でよりよい世界の実現に貢献する。
○ オリンピックの影響
・ 多数の国が参加することで、経済効果が高くなる。

【単元を貫く問い】

スタート地点にはどのような思いや願いが込められているのだろうか？